夕暮れ時は魔の時間

慎重な運転で交通事故防止を

秋の深まりとともに日没が早まり、また天候も不順となることなどから、夕暮れ時は特に歩行者及び自転車利用者などを中心とした交通事故が多発します。このため県では、十月二十一日から十一月二十日までの一か月間、「夕暮れ時の交通事故防止運動」を実施しています。

夕暮れ時から夜間にかけての交通事故を防止するため、ドライバーの皆さんは、次の点に十分注意してください。

ライトは早めにつけましょう＊

薄暮の時間は、刻々とやみに向かって時を刻むので、私たちが〝まだ明るいから〟と感じる以上に、実際には暗い場合が多いのです。ライトは早めにつけましょう。

なお、交通量の多い市街地はもちろん、対向車や先行車がある場合には、相手を幻惑しないよう、ライトは必ず下向きに切り替えましょう。

夜間のスピードは控え目に―＊

夜間は視界が悪くなり、バックミラーやサイドミラーも見えにくくなります。運転に必要な視覚からの情報量が、昼間に比べて極端に少なくなり、速度感覚が鈍化し、その結果スピードを出し過ぎることになります。

夜間の唯一の〝情報源〟ともいえるヘッドライトは、上向きの場合で約百メートル、下向きで約四十メートルくらい先のものを確認できます。しかし、百メートル先といっても、時速六十キロのスピードでは六秒、四十メートルの距離はわずか二・四秒で通り過ぎてしまいます。

このことからも、夜間のスピードの出し過ぎは〝自殺行為〟といっても過言ではありません。昼間より控え目の速度で運転しましょう。

歩行者の横断には十分な注意を―＊

目の良し悪しにかかわらず、人や物が見えなくなる蒸発現象が起こるのも夜間の特徴です。この蒸発現象は、自分の車と対向車のライトが交錯して、道路の中央の歩行者が一時的に見えなくなる、つまり視界から消えてしまうものです。次の瞬間、ドライバーが、歩行者を発見したときは、すでに至近距離に迫っており、人身事故につながることが多いのです。

これを防止するには、対向車のあるときはライトを必ず下向きにすることがとても大切です。また横断中の人や自転車などを見つけたら、よりいっそうの注意を払う必要があります。

交差点やカーブでは合図をしよう＊

見通しの悪い交差点やカーブの手前では、ライトを点滅したり、上向きにして、自分の車の存在を対向車や歩行者などに知らせましょう。

シートベルトとヘルメットの着用は忘れずに

また今回の運動では、シートベルトとヘルメットの着用推進も重点目標にあげられています。交通事故の際、シートベルトやヘルメットを着用していれば――と後で悔やむようなことにならないためにも、「命綱」ともいうべきシートベルト・ヘルメットの着用効果をもう一度よく考え、必ず着用するよう心掛けてください。

宮尾登美子さん

文化講演会にお出かけください

第五回「文化講演会」が次のように開かれます。講師は作家の宮尾登美子さんです。ぜひお出かけください。

□とき…十一月四日(日)の午後二時から
□ところ…市民会館
□演題…女性の生き方

※講師の宮尾登美子さんは、昭和四十七年に『櫂』で太宰治賞、五十三年には『一絃の琴』で直木賞、そして五十八年には『序の舞』で吉川英治賞を受賞されています。このほか、『陽暉楼』や『鬼龍院花子の生涯』など多数の著書があります。

幼児の交通安全について意見を発表

10月16日、市民会館で幼児交通安全教育研究会が開かれました。「幼児の特性と交通安全について」をテーマに、「散歩や紙しばいなどで交通事故の恐ろしさを知らせる指導を」という意見が発表されました。このほか星忠通氏の「子育ての中の交通安全」と題した講演も行われました。

明るい地域づくりの集いで作文を朗読

さる10月14日、阿賀小で「明るい地域づくりの集い」が開かれました。これは青少年健全育成の機運を盛り上げようというもので、阿賀小校区の生徒や父兄約400人が参加。五中吹奏楽部の演奏や「住みよい郷土づくり」などのテーマで寄せられた小・中学生の入選作文の発表などが行われました。

お買物、ご用命は市内で

銘菓 栗太郎
和洋御菓子司
田家屋
新津市本町四
TEL(2)〇四三〇

銘菓 雪かこい
和洋御菓子司
駿河屋
新津市本町二
TEL(2)〇五四三

耳鼻咽喉科 坂爪医院
〈診療時間〉
平日 午前7:30～12:00 午後2:30～6:00
土曜 午前7:30～12:00 午後1:00～3:00
新津駅前通（英進堂トナリ）TEL(4)5588

能代川分流改修記念

能代川は九十九曲りとも呼ばれた曲折の多い川であった。

ひとたび豪雨に遭うと流域の農地はもとより、市街地にも大きな被害をおよぼす暴れ川であった。またその昔から肥沃な農地を潤して来た恵みの川でもあった。

しかるに、昭和41年・昭和42年の連年の大雨はこれまでにない記録的なもので、とりわけ昭和42年のいわゆる8・28水害では、死者2名、負傷者9名、倒壊家屋40戸、床上浸水216戸、床下浸水1872戸にものぼる大被害をおよぼした。

ために、水害のない住みよい都市づくりを目指して、昭和42年度からはじまった能代川の改修事業は、用地面積 123ヘクタール、移転家屋 232棟、用地提供者 680有余名にもおよぶ厖大なもので、とくに大関地区より下興野地区に至る捷水路、いわゆる分流による改修計画は、国の「河川激甚災害対策特別緊急事業」に指定され、工事の早期完成をめざすとともに全国的にも稀にみる大事業となったのである。

このたび、多くの市民の温かいお力添えと家屋移転者、用地提供者の絶大な御協力、さらに関係各機関の御援助のもとに世紀の大事業の完成を見ることができた。

この能代川の分流改修事業が、水害のないみどり豊かな住みよい都市づくりと、市民総結集の礎となることを祈りここに記念碑を建立して末永く後世に伝えるものである。

昭和59年10月
新津市長　斎藤富雄建立

市長をはじめ、知事、地元選出代議士などが記念碑を除幕

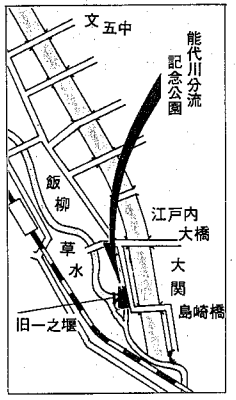
水害追放を喜び
分流記念碑を除幕

市街地を水害から守るため、約五年の歳月と百六十億円の工費をかけた能代川分流が昨年の七月二十二日に通水しました。そして、この事業を記念して草水町三丁目の一ノ堰地先の分流左岸に記念公園の建設が進められ、さる十月二十三日に、公園内に完成した記念広場で分流改修記念碑の除幕式が行われました。

記念碑は君知事の揮毫による「拓流和水」の銘板がはめ込まれた重さ三十トンの花こう岩。裏面には左に掲載した改修記念のメッセージが銘板に彫り込まれています。

なお、この記念公園の計画面積は約二万平方メートル。今回完成した部分は約二千平方メートルで、工事費は約九百万円です。桜や松の植え込みのほか、藤棚やベンチなどが配置される予定で、市民の憩いの場として整備が進められます。

除幕式に訪れ、記念公園入口でくつろぐ地元の人たち



碑文に見入る人たちも、ついつい笑顔に…

お買物、ご用命は市内で

編物展示即売会
手づくりオリジナルニット
手編、機械編
●11月3日・4日 午前10時～午後4時
天神屋画廊
※当日のみ編機5,000円で下取り
●お問い合わせ／本町3堤防通り 昆編物教室 ☎(2)2873

らくらくクレジット3～20回払い!!
写真のよきパートナー
コダカメラ
新津市本町2丁目 ☎2－0583